

# 重要

令和3年7月8日

保険薬局薬剤師 殿

愛媛大学医学部附属病院  
薬剤部長 田中 守

## 保険薬局における変更調剤トラブル事例について

平素は、当院の薬剤業務に対するご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨今、保険薬局において誤った変更調剤が行われている事例が多発しております。

**調剤前に必ず変更調剤の可否を確認してください。**

同一成分名でも規格、剤形により、薬物動態や適応症、用法・用量が異なる薬剤があります。一般名処方調剤や後発医薬品への変更において、取り違えにご注意ください。

### 【事例】

①	(タクロリムス製剤) ✓ 処方箋「 <u>グラセプター</u> カプセル 1mg 1回 3cp (1日 3cp) 分1 (朝)食後」のところ、保険薬局で「 <u>タクロリムス</u> カプセル 1mg ファイザー」で調剤した。 ✓ 処方箋「 <u>グラセプター</u> カプセル 1mg 1回 1cp (1日 1cp) 分1 (朝)食後」のところ、保険薬局で「 <u>プログラフ</u> カプセル 1mg」で調剤した。(プログラフを後発だと思い込んだ)
	<b>徐放性製剤のグラセプターを普通製剤のプログラフの後発品と誤って変更調剤 (グラセプターは後発品なし)</b>
②	(サラゾスルファピリジン製剤) ✓ 処方箋「アザルフィジン EN 錠 500mg 1回 1錠 (1日 2錠) 分2 (朝,夕)食後」のところ、「 <u>サラゾスルファピリジン</u> 錠タイヨー」で調剤していた。
	<b>関節リウマチ治療薬アザルフィジン EN 錠の後発品は、サラゾスルファピリジン腸溶錠である。</b> サラゾスルファピリジン腸溶錠の適応症は「関節リウマチ」、普通錠の適応症は「潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、非特異性大腸炎」で用量も異なる。

調剤済み処方箋の変更調剤に問題ないか、今一度ご確認頂き、インシデントが発覚した場合には調剤トラブル報告書(薬剤師会様式)を記載し、当院 FAX コーナーへ送信(報告)してください。

なお、以下の資料も併せてご確認ください。

1. 変更調剤報告ルール(別紙 ①)
2. 愛媛大学病院 院外処方 Q&A (当院薬剤部ホームページ:薬薬連携-院外処方箋関連参照)
3. グラセプター®とプログラフ®との取り違え注意のお願い (2020年10月アステラス発行) (<https://www.pmda.go.jp/files/000236888.pdf>)

なお、本通知文、別紙資料は当院薬剤部ホームページにも掲載しております。  
保険薬局各位のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連絡先

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

電話 089-960-5738 (調剤室、薬剤師外来)

## 別紙 ① : 2016年7月22日通知、抜粋

### 一般名処方及び先発→後発変更における薬剤情報提供一部中止について

一般名処方における調剤及び先発医薬品から後発品医薬品への変更調剤を行った際の薬剤情報提供(おくすり伝言板利用)について、以下の通りとなります。

### 2016年7月25日より開始

一般名処方に関わる処方薬について調剤を行ったとき	情報提供には、処方箋右側の <b>おくすり伝言板</b> を活用し、FAXコーナーへFAXを送信して下さい。
先発医薬品から後発医薬品に変更調剤を行ったとき	※報告は、初回のみ。 <b>ただし、7月25日までに薬剤部に1度でも薬剤情報提供を行った患者においては、薬剤情報提供不要</b> ※お薬手帳・薬情でわかるようにして下さい。

変更点:赤字

- ✓ **2016年7月25日**より当院の処方箋を受けた場合、初回に限り、おくすり伝言板を利用して薬剤情報提供をお願い致します。  
提供された薬剤情報提供をカルテに患者情報(応需薬局)として登録させていただきます。